

区連会 7月定例会資料

令和2年7月21日

港北区福祉保健課

「ひっとプラン港北」地区計画推進委員会 代表者様

港北区福祉保健課
港北区社会福祉協議会

『第4期「ひっとプラン港北」地区計画策定ガイドライン』の改版について

日頃より「ひっとプラン港北」の推進にご尽力いただきありがとうございます。
第4期「ひっとプラン港北」地区計画の策定については、各地区において進めていただいておりますが、新型コロナウイルス感染拡大を受けて、これまでのように地域の多数の方が集まって策定・推進委員会を開催することは難しい状況となっています。

このため、新型コロナウイルス感染症対策を優先しながら、「新しい生活様式」及び国の基本的対処方針や神奈川県対処方針、利用施設の再開方針等を踏まえ、「3密」を回避した対策を行ったうえで、可能な範囲で話し合いや意見集約を行うようお願いいたします。

今回、新型コロナウイルス感染拡大を受けて『第4期「ひっとプラン港北」地区計画策定ガイドライン』の内容やスケジュール等について見直しを行いました。今後の計画策定の際には『第4期「ひっとプラン港北」地区計画策定ガイドライン（改版）』を使用してください。

港北区福祉保健課 秋山、佐々木、中嶋
045-540-2360
港北区社会福祉協議会 梶山、大川、渡辺
045-547-2324

第4期「ひっとプラン港北」地区計画策定ガイドライン

「ひっとプラン港北」地区別計画は、地域の特性や資源を活かしながら、地区住民が主体となって、地域のつながりづくりや支え合いを進めるための具体的な取組計画です。このガイドラインは地区計画を策定する際に進め方の参考としていただくために、考え方や手順を解説したものです。今回、新型コロナウイルス感染拡大を受けて策定スケジュールや進め方について見直しを行いました。

1 ひっとプラン港北（港北区地域福祉保健計画）とは

「誰もが安心して健やかに暮らせるまち 港北」を目指し、地域住民と関係団体、行政等が連携して地域の福祉保健課題の解決に取り組み、助け合いや支えあいのある地域づくりを進めるための計画です。

- ◆ **基本理念** 誰もが安心して健やかに暮らせるまち 港北
- ◆ **計画期間** 令和3年度～令和7年度（第4期計画）
- ◆ **推進の柱** 「ひろがる」「つながる」「とどく」

推進の柱	主 旨	説 明
ひろがる	理解と参加のひろがりによる活発な地域づくり	世代を超えて理解と参加を促し、活発で持続可能な地域づくりを進めます。
つながる	人のつながりで進める安心なまちづくり	住民同士の交流と多様性の理解を進め、健康で安心して暮らせるまちづくりを進めます。
とどく	支援がとどく仕組みづくり	必要とする人に的確に支援が届く仕組みづくりや、身近な地域で相談できる環境整備を進めます。

◆ 計画の構成

13の連合町内会・地区社会福祉協議会ごとに定める「地区計画」と、「区全体計画」から構成されています。

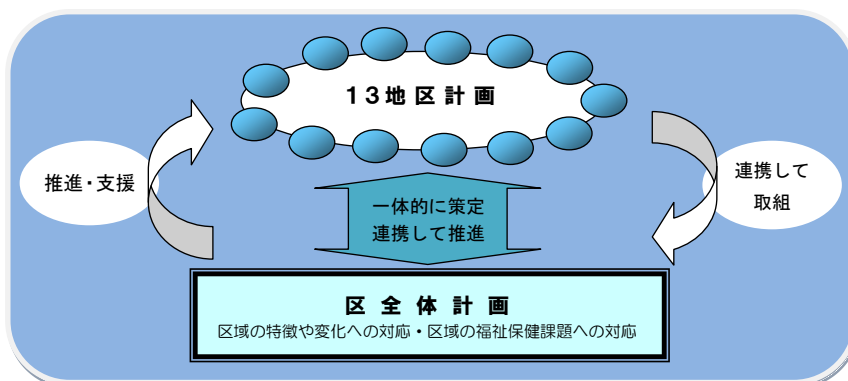
地区計画

その地区の住民が主体となり、地域の特性や資源を活かしながら、福祉保健を中心とした地区の生活課題について検討し、解決していくために策定・推進する計画。

区全体計画

区役所と区社会福祉協議会が中心となり、各地区計画での取組とも連携しながら、区域の福祉保健課題について検討し、解決していくために策定・推進する計画。

* 地区計画と区全体計画の関係



2 地区計画策定の進め方

ここでは、地区計画策定に向けた手順の目安を記載しています。話し合いや意見集約については、地区の状況にあわせて柔軟に行ってください。なお、策定・推進委員会開催前には、進行方法や資料等の確認のため、サポートスタッフと事前に打ち合わせをしていただくようお願いします。

新型コロナウイルス感染予防のため、多数のメンバーが参加する策定・推進委員会の開催が困難となっています。石鹸での手洗いや手指消毒の徹底、マスク着用や参加人数の検討など、「3密」を回避する対策を行い、感染予防を優先しながら、可能な範囲で話し合いや意見集約を行うようお願いします。

<可能な話し合いや意見集約の例>

- ・部会ごとの話し合いを中心にして、全体会議は部会の代表者のみで行う
- ・アンケート、インターネットでの意見募集（区が支援を行います） など

1 現計画の振り返りと課題の確認（振り返りが未実施の場合）

振り返りの項目例

- ① 3期計画の成果と課題
 - ・地域にある社会資源の状況及び社会資源と地域の活動との連携状況
 - ・地域活動団体の状況（増減含む）
 - ・3期計画の具体的取組の実施状況
 - ・様々な住民の意見、要望など
- ② 4期計画の策定に向けた整理
 - ・地域の特徴、これから予想される地域の変化
 - ・理想の地域像「こうなって欲しい」
 - ・今後の進め方（部会制の検討など）
- ③ その他各地区独自項目など

策定・推進委員会実施にあたり、他に必要な資料があればご相談ください。

【例】・基礎データ：人口データ（将来推計含む）、地域資源情報、区民意識調査結果

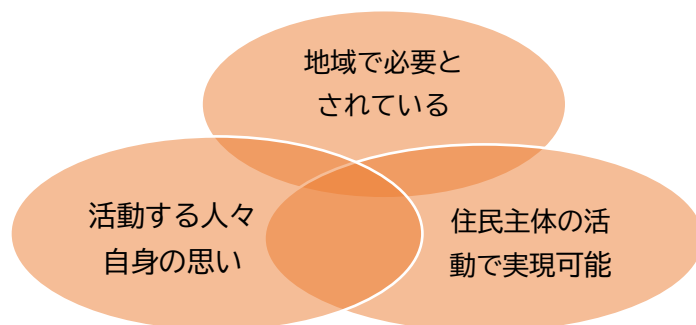
- ・福祉保健計画に関する情報：市計画、区計画骨子、地区計画策定ガイドライン、地区計画、リーフレット、地区計画ニュース

2 計画の検討を行う策定・推進委員会を実施する

(順次)

- ◆ 5年後、10年後に目指すまちの姿に向けた**計画**を考えましょう。
 - 地域の課題に対して、「地域」でできることを考えます。
 - 新しいことを始めるだけでなく、今ある資源や活動が活用できているか、もう一度見直しましょう。
 - 公的機関や事業者等との役割分担を考えましょう。

目標を検討する際は、次の3点が重なる部分を考えましょう



3 素案の作成

(令和3年3月まで)

- ◆ 検討した結果を計画としてまとめ、素案を作成しましょう。

地区計画の概要

仕様：A4両面（2ページ）

内容：愛称、めざすまちの姿、3期計画の振り返り、計画の方向性、中期目標等

※短期目標（1年）及び具体的な取組は、第3期計画時と同様に毎年度発行する「地区計画ニュース」に記載できるようにします。

★ 素案作成に際して

- 第4期地区計画では「具体的取組※」までは記載せず、5か年の計画の方向性や中期目標を中心に定めます。（新型コロナウイルス感染予防のため「新しい生活様式」での地域活動の実施も予想されるため）

※「具体的取組」については、年に1度発行する「地区計画ニュース」にて前年度の取組、次年度の取組について記載します。

- 新型コロナウイルスによって地域が変化することもあると思われます。今後の地域の姿を意識しつつ検討を進めてください。

4 素案の公表、意見募集

(令和3年5月)

素案を地域住民へ公開し、意見を募集します。回覧等へのご協力をお願いします。

5 計画の確定

(令和3年8月まで)

地区計画を確定します。また、推進方法や、推進委員会の開催方法、振り返りの方法を再確認しておきましょう。

★ 推進の間、一年ごとに地区計画の取組と今後の方向性を確認するようお願いします。

6 計画の推進

(~令和8年3月)

5年間の計画推進の過程では、取組の状況を振り返り、今後の活動につなげていくことが大切です。

地区計画の愛称

◇わたしたちが目指すまち

- ・
- ・
- ・
- ・

長期目標・キャッチフレーズ・目指す姿

簡潔でわかりやすいものにしましょう

◇地区の概況（文書で記載）

- ・【地区の概況】区内での位置、範囲（町名）、交通、地形など
- ・【居住者の特徴】
- ・【福祉保健活動の状況】特徴的な組織、地区活動、施設など

区で作成します

◇3期計画の振り返りと4期計画の方向性

●今までの取り組み

例：地域の活動を多くの人に知ってもらうために情報発信に力を入れてきました。

●地域の現状と課題

例：地域にはひとり暮らしの高齢者が増えています。

新しく建設されたマンションに若い世帯が増えています。地域活動への参加は多くありません。

●今後の方向性

例：これまでの取組を継続できるように、団体間の連携やあらたな人材の発掘に取り組んでいきます

●計画推進の体制・振り返りの方法

目標

記載内容

目標 今後5年間取り組んでいく目標を記載してください

- 例：
- 子どもたちを地域で見守り、子育てにやさしい町をつくります
 - 住民同士の顔の見える関係づくりを進めます
 - 誰もが参加できる健康づくりの活動を増やします

◇これまでの地域の活動

●活動の写真や取組の説明等

●「ひっとプラン港北」に関する問い合わせ

問い合わせ先：港北区役所福祉保健課事業企画担当
港北区社会福祉協議会

TEL.*** - *** -*****
TEL.*** - *** -*****